



国際口腔医療ネットワーク
International Oral Medical Network

第79回例会

2018.6.23 (土) 19:00~21:00 (終了後、懇親会有り)

対象／医療関係者 参加料／2,000円 (研修医・学生無料)

※当日受付にてお支払いください。(受付にて領収書を発行致します)

IOMは大森・東京歯科口腔外科、理事長新保悟を中心として、口腔医療に携わる全ての人達で作るスタディグループです。オープンな勉強会ですので、どなたでも気軽にご参加いただけます。どうぞ、お知り合いの先生もお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。※テーマは毎月変わります。

第79回 演者

鶴見大学有床義歯補綴学講座 助教

新保 秀仁先生



講演内容

**デジタル技術を用いた
有床義歯補綴治療**

～アメリカで行われている最新技術～

常に国内外の情報得られており、現在は鶴見大学でご活躍されている同先生に、**DENTCAシステムの現状とその術式や臨床例、アメリカの最新デジタルソリューションについて**ご披露頂きます。

※抄録は裏面記載

○University of Uruguay 客員研究員
(ウルグアイ大学歯学部)

○Baylor College of Dentistry 客員研究員

○鶴見大学有床義歯補綴学講座 助教

○University of Southern California
客員研究員

※略歴詳細は裏面記載

会場

Luz大森 4F 入新井集会室
東京都大田区大森北1-10-14

お申し込み (お問合わせ)

IOM事務局／大森・東京歯科口腔外科
担当: 安田
TEL／FAX／E-mailで承ります。

- TEL: 03-5767-7505
- FAX: 03-5767-7508
- E-mail: soushinkai.yasuda@gmail.com
- HP: <http://iom-dental.net/>

Facebook

当スタディグループのページ有り。【IOM】でご検索下さい。
Facebook上でも同イベントの申込を受けつけております。



第79回に参加 / 不参加

次回以降の案内 希望 / 希望しない

懇親会に参加 / 不参加
(会場近隣店にて 会費制)

貴院/貴技工所/貴社名

ご参加者名

E-mail

ご住所 〒

TEL ()

FAX ()

「デジタル技術を用いた有床義歯補綴治療」 ～アメリカで行われている最新技術について～

新保秀仁

(鶴見大学 有床義歯補綴学講座)

今日まで補綴装置のクオリティーは素材の理工学的性質や歯科医師、歯科技工士の技術によって補償されてきたが、均質で高精度な補綴装置を提供し続けることは容易ではなかった。

近年、コンピューターサイエンスの進歩に伴い、デジタルテクノロジーを用いた補綴装置の製作が一般臨床にも普及するようになってきた。

補綴装置の安定性、耐久性だけでなく、情報の保存や伝達、製作期間の短縮やエラーが少ないなど多くの利点があり、インプラント上部構造や固定性補綴装置の分野では、印象採得から補綴装置製作までのフルデジタル化が可能なレベルに到達している。

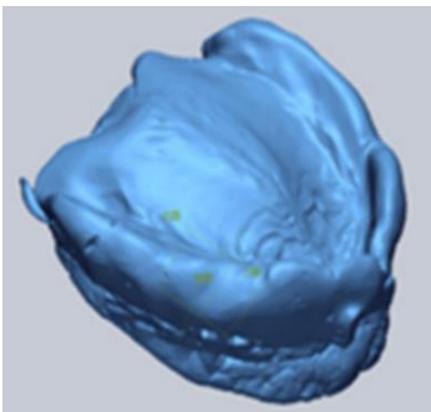
遅れはしたが、有床義歯においてもCAD/CAM技術を応用したデジタルデンチャーの製作が試みられ、約70年間頑なに踏襲されてきた可撤性義歯の製作術式が大きな変革期を迎えようとしている。

既にアメリカではコマーシャルベースで利用されているデジタルテクノロジーを用いた全部床義歯製作システムが存在する。

本学の有床義歯補綴学講座でも採用しているDENTCAシステムは2007年にProf. Tae Hyung Kim (University of Southern California, USA)により考案された、少ない来院回数で精密な義歯を製作するシステムである。

また、DENTCAシステムのCADソフトウェアは全部床義歯製作だけでなくインプラント治療など幅広い欠損補綴治療にも応用されている。

今回は**DENTCAシステムの現状とその術式や臨床例を供覧するとともに、アメリカで行われている欠損治療に対する最新のデジタルソリューションに関して報告する。**



略歴

平成9年 鶴見大学歯学部歯学科入学

平成15年 同大学卒業

平成15年 同大学大学院歯学研究科入学

平成16年 University of Uruguay (ウルグアイ大学歯学部) 客員研究員

平成19年 同大学大学院歯学研究科修了

平成19年 Baylor College of Dentistry 客員研究員

平成20年 鶴見大学歯科補綴学第一講座 学部助手

平成23年 鶴見大学有床義歯補綴学講座 助教

平成28年 University of Southern California 客員研究員